

#Smart City NAGANO ～市民と創る最高のまちづくり～

長野市森林整備計画の概要

FEEL NAGANO, BE NATURAL

この街で、わたしらしく生きる。長野市

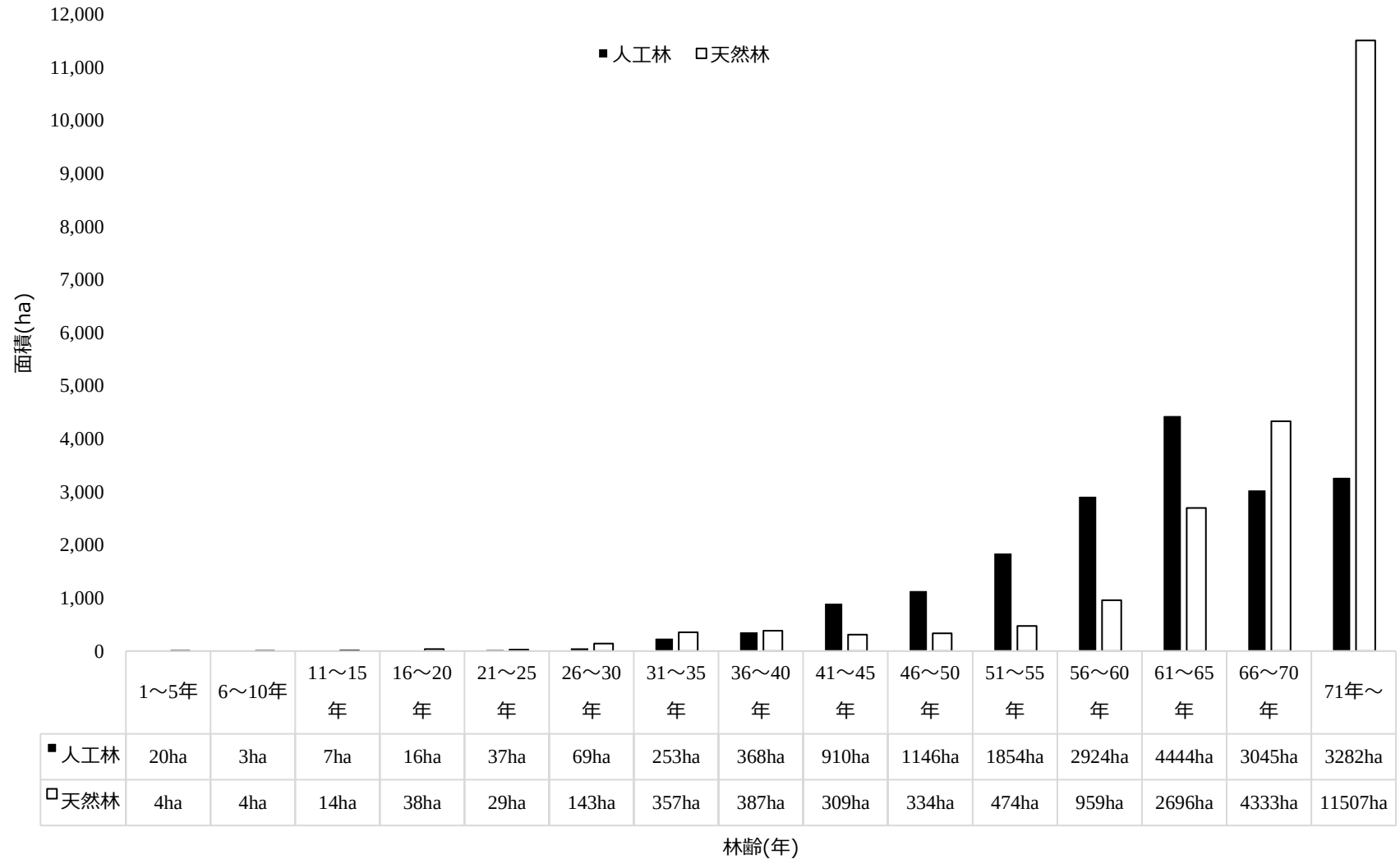
- ・ 森林法第10条の5の規定により、地域森林計画の対象となる民有林が所在する市町村が5年ごとに作成する10年を一期とする計画（長野市森林整備計画の計画期間令和7年4月1日～令和17年3月31日）
- ・ 地域の森林・林業の特徴を踏まえた森林整備の基本的な考え方やこれを踏まえたゾーニングの作成
- ・ 地域の実情に即した森林整備を推進するための森林施業の標準的な方法及び森林の保護等の規範、路網整備等の考え方等を定める長期的な視点に立った森林づくりの構想

ページの表記は長野市森林整備計画の掲載ページ

総面積	森林面積	83,481ha	
		52,451ha	
		国有林	11,041ha
		民有林	41,410ha
		人工林	18,377ha

樹 種	面 積	比 率
アカマツ	2,721ha	7%
カラマツ	7,504ha	19%
スギ	9,366ha	23%
ヒノキ	379ha	1%
その他針葉樹	48ha	0%
広葉樹	19,945ha	50%

区 分	面 積
竹林	111ha
未立木地等	1,334ha



1 森林の立木竹の伐採（間伐を除く）

樹種別の立木の標準伐期齢

区分	樹種	標準伐期齢
針葉樹	カラマツ	40年
	アカマツ	40年
	スギ	40年
	ヒノキ	45年
	その他針葉樹	60年
広葉樹	クヌギ	15年
	ナラ類	20年
	ブナ	70年
	その他広葉樹	20年

※指標として定めるものであり、標準伐期齢に達した時点での伐採を促すものではない

2 造林

1 人工造林

- ・植栽によらなければ適確な更新が困難な森林
- ・公益的機能の発揮の必要性から植栽を行うことが適当である森林
- ・特に効率的な施業が可能な森林等

上記の木材等生産機能の発揮が期待され、将来にわたり育成単層林として維持する森林において実施

2 天然更新

- ・稚樹の生育状況
- ・母樹の存在
- ・森林の現況、気候、地形、土壌等の自然条件
- ・林業技術体系

主として天然力の活用により適確な更新が図られる森林において実施

3 間伐及び保育

公益的機能の維持増進や、木材の利用価値を高めるために実施

1 間伐の標準的な方法

森林のめざす姿や将来の材の用途等の目標を定め、その目標に向けて行う

ア 点状間伐

初回の間伐は、不良木を対象に間伐率や均等配置を考慮して並の立木も伐採

イ 列状間伐

1列伐採、2列残存を標準とする

2 保育の種類別の標準的な方法

森林の立木の生育の促進並びに林分の健全化及び利用価値の向上を図る

- ・下刈り・・・草本植物等の高さの1.5倍になるまで行う
- ・枝打ち・・・木材機能維持増進森林においては無節の良質材を生産する場合に実施
- ・除伐・・・生長を阻害する樹木等を除去

1 公益的機能別施業森林

- ・水源涵養機能維持増進森林
(青色)

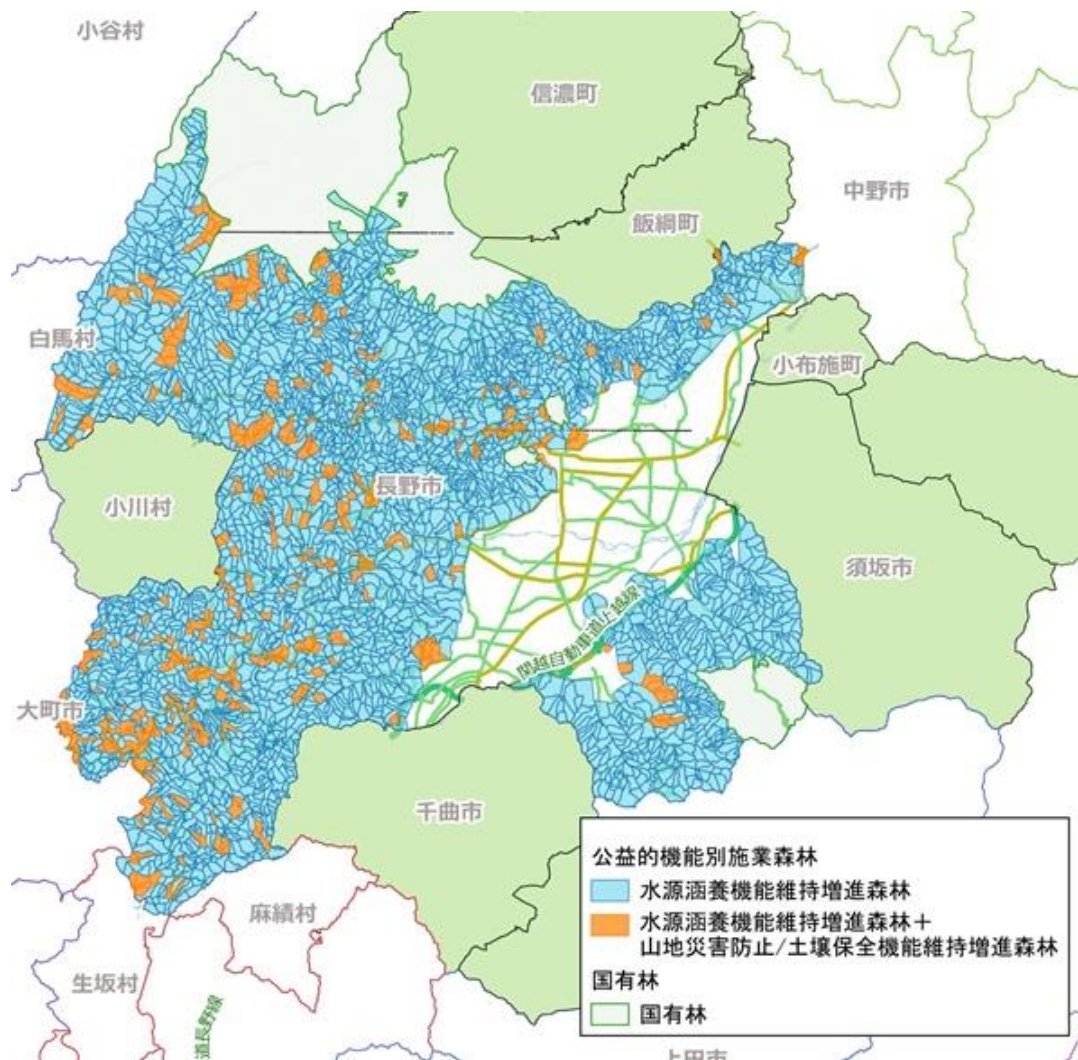
指定面積 41,410ha

標準伐期齢 + 10年で伐採

- ・山地災害防止／土壤保全機能維持増進森林
(橙色)

指定面積 4,498ha

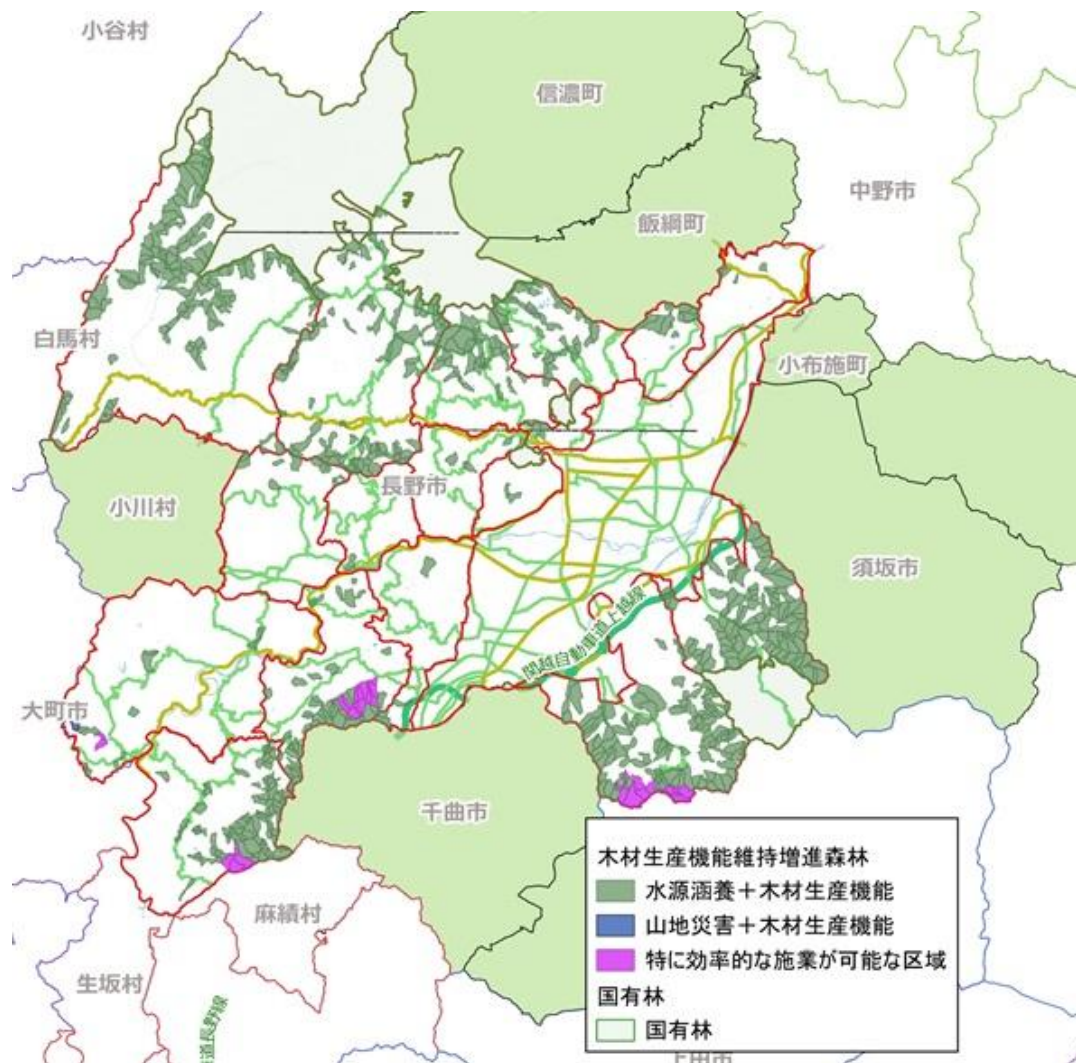
標準伐期齢の2倍で伐採



2 木材生産機能維持増進森林

・木材生産機能維持増進森林
指定面積 9,696ha

・特に効率的な施業が可能な区域
(紫色)
指定面積 536ha



・森林経営計画（区域計画）を策定できるよう支所単位で区域設定

区 域 名	林班	区域面積 (ha)
若 穂	1～47林班	2541.51
松 代	48～110林班	3964.19
篠 ノ 井	111～133林班	1237.33
信 更	134～182林班	2146.04
七 二 会	183～192林班	770.37
小 田 切	193～217林班	1256.68
芋 井	218～246林班	1617.09
安 茂 里	247～255林班	713.95
長 野	256～260林班	255.47
浅 川	261～291林班	1599.47
若 槻	292～301林班	636.80
大 岡	1001～1061林班	3466.01
豊 野	2001～2019林班	634.30
戸 隠	3001～3099林班	4624.54
鬼 無 里	4001～4119林班	9034.10
信州新町	5001～5095林班	5015.23
中 条	6001～6035林班	1896.70

